

山口勝弘と

北代省三展

イカロスの夢

Museum Collection I

YAMAGUCHI Katsuhiro and KITAOAI Shozo:  
An Aspiration to Fly

2023.4.22<sup>土</sup>-7.23<sup>日</sup>

世田谷美術館 2階展示室  
SETAGAYA ART MUSEUM

主催 世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)

協力 YOKOTA | TOKYO

開館時間 午前10時～午後6時  
(入場は午後5時30分まで)

休館日 毎週月曜日

\*ただし、5月1日[月]、7月17日[月・祝]は開館。  
7月18日[火]は休館。

観覧料 一般200(160)円、大高生150(120)円、  
65歳以上/中小生100(80)円

\*障害者の方は100円(80円)。ただし、小・中・高・大学生の  
障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。  
証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名  
以上の団体料金。\*世田谷区内在住・在学の小・中学生は  
土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。\*同時開催の企画展  
チケットで本展をご覧いただけます。

Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

Tel. 03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

上 北代省三《洋風(空撮用)》1990年頃

下 山口勝弘《イカロスシリーズ モネンバシアの朝》2008年  
Photo: UENO Norihiro



# 山口勝弘と 北代省三展

## イカロスの夢

Museum Collection I

YAMAGUCHI Katsuhiro and  
KITADAI Shozo: An Aspiration to Fly

第二次世界大戦後の日本において前衛芸術の出発点に位置する〈実験工房〉。短い期間ではありましたが、若い美術家や音楽家たちが集まり、協働で舞台を手掛け、発表会を行い、芸術の総合を目指しました。

ここに参加し、1970年代以降はメディアアートの先駆者として活躍した山口勝弘(1928-2018)は、2001年に病に倒れたあとも、制作を続けます。身体の動きが不自由ななか、宇宙空間や飛行について思索を巡らせ、絵筆を握りキャンパスに向かいました。短いタッチが繰り返されるカラフルな画面に向き合うと、身体に伝わる振動を感じつつ絵画が生み出されたことがわかります。

また、同じく〈実験工房〉で活動し、写真の仕事も多く遺している北代省三(1921-2001)は、1970年代以降、模型飛行機や凧の制作を行いました。特に凧は、和洋問わずにさまざまな形体を試みています。その造形的な美を求めればかりではなく、エンジニアのように風の速度や圧力を計算しつつ精度を高めていく姿は、遊びでありつつ遊びの先に何かの真理を掴もうとしているかのようです。

本展覧会では、山口勝弘の晩年の絵画作品と北代省三の凧を中心とし、福島秀子や駒井哲郎、大辻清司ら〈実験工房〉のメンバーの制作活動の一端をご紹介します。

### 小コーナー展示 追悼——矢吹申彦

昨年10月に逝去されたイラストレーターの矢吹申彦(1944-2022)の作品を、当館のコレクションよりご紹介します。



北代省三  
《群れのエントロピー》  
1987-94年



大辻清司  
《オートスライド作品を制作する実験工房メンバー》  
(ポートフォリオ『eyewitness』より)1953/2008年



駒井哲郎  
《花と果実(Flours et fruits)》  
1973年  
福原義春コレクション  
©Yoshiko Komai 2023 /JAA2300014



福島秀子  
《五月の振動IX》  
1986年



山口勝弘  
《宇宙から飛んで来た素粒子の分裂》  
2008年

Photo: UENO Norihiro

### 同時開催企画展

- 麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン  
2023年4月22日(土) - 6月18日(日)
- シャガール 版にしろした光の詩 神奈川県立近代美術館コレクションから  
2023年7月1日(土) - 8月27日(日)

### 次回収蔵品展

- ミュージアム コレクション II  
● 雑誌にみるカットの世界 『世界』(岩波書店)と『暮らしの手帖』(暮らしの手帖社)  
2023年8月5日(土) - 11月19日(日)



世田谷美術館 YouTube  
展覧会からパフォーマンスまで、世田谷美術館の多彩な活動を紹介する「世田美チャンネル」、ジュニア(小学校高学年~中学生)向けの「セタビチャンネルJr.」、世田谷美術館美術大学講師がクローカーなどを手引きする「美術大学通信講座」ほか、約100本以上の動画を公開中です。



世田谷美術館 Twitter  
展覧会やホームページの更新情報などを発信しています。



世田谷美術館 Instagram  
世田谷美術館の展覧会と建築の魅力や、四季折々の写真とともに発信しています。

## 世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/> 展覧会のご案内 050-5541-8600(ハローダイヤル)

### 交通案内

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バス(A)「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス(B)「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス(C)「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料): 東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。

\*新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡散抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用と検温等のご協力をお願いしております。\*展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。会期中の最新情報は、美術館ウェブサイト等でお知らせします。

